

PRESS RELEASE

2012年12月10日
株式会社三菱総合研究所

2012年7-9月期2次QE後「内外景気見通し」改定値

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号)は、内閣府より12月10日に発表された2012年7-9月期GDPの2次速報値(2次QE)を受け、11月13日当社発表の「2012・2013年度の内外景気見通し」におけるGDP予測値の改定を行った。

◆ 予測結果 - 実質GDP成長率は12年度+1.0%、13年度+1.5%

実質GDP成長率は、12年度+1.0%、13年度+1.5%と予測する(前回見通し(1次QE後、11月13日)から変更なし)。

7-9月期GDPの2次QEは、1次QE(実質前期比▲0.9%、同年率▲3.5%)から変更はなかった。ただし、平成23年度確報公表等にもなう過去系列の改定により、4-6月期が実質前期比▲0.0%、同年率▲0.1%と下方改定され、実質GDP成長率は2四半期連続のマイナスとなった。

先行きは、海外経済の低迷や政策効果の剥落などを背景に、年内は内外需とも弱い状態が続くであろう。13年入り後は、海外情勢の改善から輸出が持ち直し、さらに来春以降は生産や内需にも波及するかたちで徐々に回復軌道に戻っていくと予想する。ただし、海外情勢を巡る不確実性は高く、①中国経済の行方、②米国の財政運営、③欧州債務危機の動向次第では、日本経済の後退局面が長期化・深刻化する可能性がある。

図表 日本経済見通し総括表

		今回見通し			前回(1次QE後、11/13)	
		2011年度 実績	2012年度 予測	2013年度 予測	2012年度 予測	2013年度 予測
(単位:前年度比)						
実質 GDP	実質国内総生産(実質GDP)	0.3%	1.0%	1.5%	1.0%	1.5%
	民間最終消費支出	1.6%	1.2%	0.9%	1.0%	0.9%
	民間住宅投資	3.7%	2.7%	4.3%	2.6%	4.2%
	民間設備投資	4.1%	▲0.4%	1.4%	0.2%	1.8%
	民間在庫品増加(寄与度)	▲0.5%	0.0%	0.2%	0.1%	0.2%
	政府最終消費支出	1.5%	2.6%	1.6%	2.2%	1.5%
	公的固定資本形成	▲2.3%	13.2%	0.9%	10.0%	1.0%
	財貨・サービス純輸出	***	***	***	***	***
	財貨・サービス輸出	▲1.7%	▲1.7%	2.7%	0.2%	3.6%
	財貨・サービス輸入	5.2%	3.4%	2.2%	5.0%	3.1%
寄与度	内需寄与度	1.3%	1.8%	1.4%	1.6%	1.4%
	民需寄与度	1.1%	0.7%	1.0%	0.8%	1.0%
	公需寄与度	0.2%	1.0%	0.3%	0.8%	0.3%
	外需寄与度	▲1.0%	▲0.7%	0.1%	▲0.7%	0.1%
名目国内総生産(名目GDP)		▲1.4%	0.3%	1.1%	0.3%	1.1%
GDPデフレーター		▲1.7%	▲0.7%	▲0.4%	▲0.7%	▲0.4%

注:本予測では、14年4月の消費税率引き上げ(5→8%)、および13年度の駆け込み需要を織り込んでいる。
資料:実績は内閣府。予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 武田洋子 森重彰浩 電話: 03-6705-6087 FAX: 03-5157-2161 E-mail: ytakeda@mri.co.jp
広報・IR部 笠田・武居 電話: 03-6705-6000 FAX: 03-5157-2169 E-mail: media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。